

(参考情報)

2014年4月28日
新日鐵住金株式会社

福島県いわき市での「日米友好の木ーハナミズキ・イニシアチブ」の実施について

この度、米国政府は、東日本大震災で津波被害を受け、復旧・復興のただ中にある、福島県いわき市に対して、日米友好の木ーハナミズキを50本、寄贈いたしました。

これは、米国が2012年より日本国との友好親善推進を目的とした「ハナミズキ・イニシアチブ」の一環として実施するものあり、当社は、同イニシアチブの主旨に賛同し、同イニシアチブの推進*を支援してまいりました。昨年度の釜石市への寄贈に引き続き、当社が支援させて頂く被災自治体としては、2度目の植樹となります。

(なお、今回が米国政府より福島県へ初めてのハナミズキ寄贈となります。)

1. 「ハナミズキ・イニシアチブ」推進の経緯

2012年に実施された日本から米国ワシントンDCへの3000本の桜寄贈100周年の記念事業の最後を飾る、ワシントンDCの国立美術館でのコンサートに招聘された新日鉄文化財団(当時:現「新日鉄住金文化財団」)の紀尾井シンフォニエッタ東京が、演奏を行うとともに、100周年の祝賀と東日本大震災への米国からの支援への感謝を進藤財団代表理事(新日鉄副社長(当時)現新日鉄住金社長)がお伝えしたことがきっかけとなり、当該活動の支援を続けています。

2. 「チャイルドハウスふくまる」の開所式及びハナミズキ植樹セレモニー

日 時 : 2014年4月26日(土) 11:00-12:00

場 所 : 福島県いわき市四倉町

主 催 : 特定非営利活動法人よつくらぶ、
特定非営利活動法人ふくしま震災孤児・遺児をみまもる会

参加者 : 約80名

特定非営利活動法人よつくらぶ 佐藤雄二理事長、
特定非営利活動法人ふくしま震災孤児・遺児をみまもる会 曾我泉美理事
米国大使館 広報・文化交流部 伊藤みどり
福島県いわき市 清水敏男市長
新日鐵住金(株)東北支店 宮崎哲夫支店長

本 数 : 50本

寄贈者： 米国大使館 キャロライン・ケネディ大使

(日米友好の証としてハナミズキを贈呈)

会場にて米国大使館 伊藤みどり氏よりメッセージが読み上げられました。

受贈者： いわき市長 清水敏男氏のコメント

「ハナミズキの木々が春には花を咲かせ、秋には実を付けて紅葉し、福島の子供たちの成長を見守ってくれるでしょう。ありがとうございました。」



(お問い合わせ先) 総務部広報センター 03-6867-5807

以上